

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 特別研究事業
第1回国際検討会
古代東アジアの航海と宗像・沖ノ島

2019年2月26日（火）、27日（水）

於：九州大学西新プラザ（大会議室A・B）

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、2017年7月のユネスコ世界遺産登録に際して、調査研究の継続・拡大を世界遺産委員会より勧告されている。本遺産群の価値の根幹に関わる古代東アジアにおける航海や交流、そして祭祀の実像については、依然明らかでない部分も大きく、特に各地域間での比較検討が不十分な状況にある。これらの問題について研究を進めることは、世界遺産としての価値をより高めることにつながるため、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会では、関連する分野の専門家とともに、三年間の特別研究事業として調査研究を行っている。

第一回目の本国際検討会では、古代東アジアにおける航海をテーマとして、各分野の最新の研究状況の報告と討論を行う。本遺産群で古代祭祀が行われた4世紀から9世紀の航海がどのようなものであったか（航路や航海術など）、各分野・地域における現在の知見を集積し、祭祀が行われた背景と宗像・沖ノ島の特質について考える。

※専門家・研究者向けに公開する学術的な検討会です。

※外国語による発表・発言は日本語に翻訳されます。

※参加無料。参加希望者は事前に福岡県世界遺産室 (sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp) までお申込みください（先着順。定員112名）。

2月26日（火）

（*報告タイトルは仮題を含みます）※都合により報告4が変更になりました。

13:00～13:10 開会行事

13:10～13:20 趣旨説明（研究事業の経緯と課題）

13:20～14:20 報告1「4世紀から9世紀の中国における造船・航海術」（+質疑）
姜 波（中国、国家文物局水下文化遺産保護中心考古所所長）

14:20～15:10 報告2「4世紀から9世紀の日本における造船・航海術」（+質疑）
森田克行（高槻市立今城塚古代歴史館特別館長）

<休憩 15分>

15:25～16:15 報告3「南方世界の造船・航海術および信仰」（+質疑）
後藤 明（南山大学教授）

16:15～17:15 報告4「沈没船から読み解く造船技術と航海」（+質疑）
佐々木蘭貞（九州国立博物館アソシエイトフェロー）

<17:30～ 情報交換会 於：西新プラザ展示コーナー>

※事前申込み・会費（3000円）制。立食形式。

情報交換会への参加を希望される方は、2月15日（金）までに

福岡県世界遺産室 (sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp) まで連絡下さい。

2月27日(水)

9:30~10:30 報告5「古代韓半島をめぐる航路と交易様相の変遷過程」(+質疑)

権五栄(韓国、ソウル大学教授)

10:30~11:20 報告6「古墳時代の日朝交渉における海の道

—朝鮮半島南・西海岸地域の倭系資料の分析から」(+質疑)

高田貫太(国立歴史民俗博物館准教授)

11:20~12:10 報告7「東シナ海~日本海の海流と航海環境」(+質疑)

広瀬直毅(九州大学応用力学研究所教授)

<昼休憩 60分>

13:10~17:00 討論「古代東アジアの航海と宗像・沖ノ島」<途中、休憩15分あり>

議長：佐藤 信(人間文化研究機構理事、東京大学名誉教授)

溝口孝司(九州大学教授)

討論参加者：各発表者

秋道智彌(総合地球環境学研究所名誉教授・山梨県立富士山世界遺産センター所長)

笹生 衛(國學院大学教授)

田中史生(早稲田大学教授)

禹 在 柄(韓国、忠南大学校教授)

会場案内

九州大学西新プラザ(大会議室A・B)

〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新2-16-23



福岡市営地下鉄「西新」駅、
⑦番出口より徒歩約10分。

※駐車場は5台分のみとなっておりますので、公共交通機関で
ご来場下さい。

主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

(事務局：福岡県文化振興課世界遺産室)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

Tel: 092-643-3162 Fax: 092-643-3163